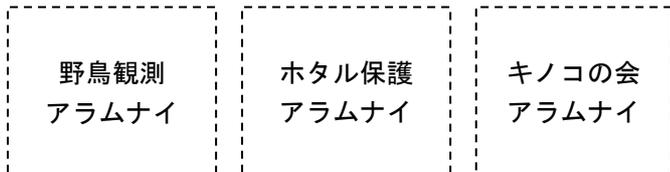


## 4. 環境立村「東通イニシアティブ」の推進

### (1) 環境組織立ち上げデザイン

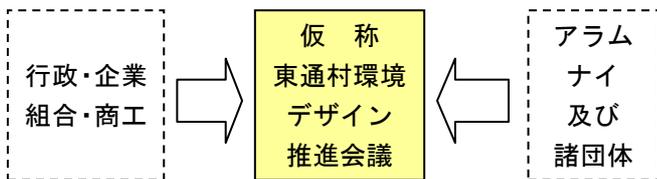
#### ①環境アラムナイ（同窓生組織）の形成

環境（景観）に興味がある集団（グループ）を形成します。個人法人は問いません。  
特にテーマを持って活動する場合があります。



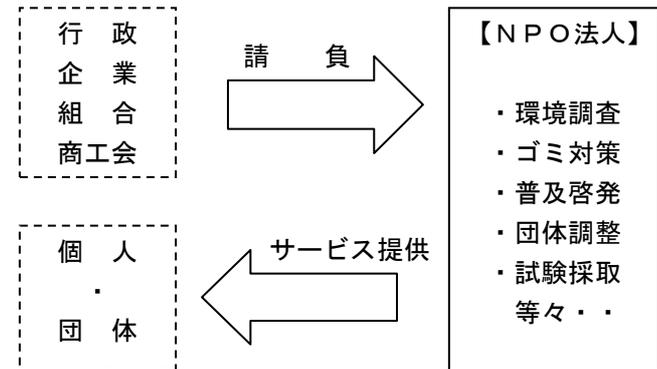
#### ②環境NGO（非政府組織）の形成

複数のアラムナイ組織の連合体、あるいは東通村独自の環境保護団体を設立します。  
環境デザイン推進組織。  
環境省NGO登録。



#### ③環境NPO法人（特定非営利活動法人）設立

従来、環境活動においては、基本的にボランティア活動によるものであり、営利目的とはかけ離れていたことから、主流はNGOでした。  
しかし「自然社会資本」にのっとり、環境を財産としてとらえた新たな活動を行うため、法人化し独自運営していく必要があります。



#### ④シルバー組織の設立

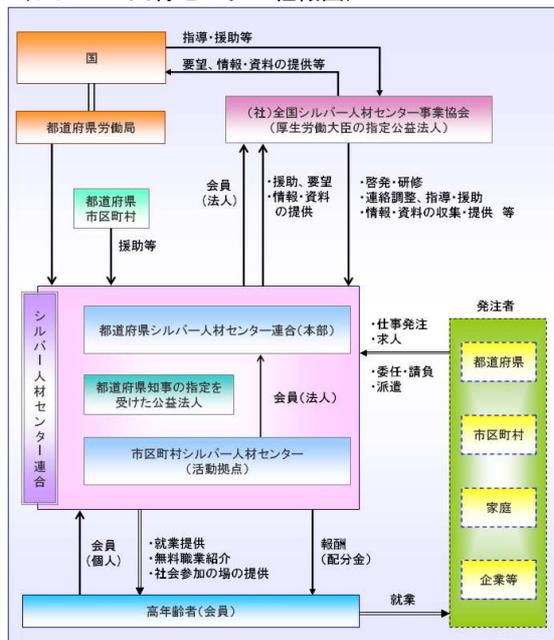
現在、シルバー人材センターは無く、単位老人クラブ、老人クラブ連合会が組織されており、主にゲートボールや演芸など交流事業等を実施しています。

シルバー人材センターは、人生経験が豊富、技術がある、人件費が安い、時間が融通できるなど、町の便利屋さん並みの業務をこなしており、依頼により派遣されてきます。

少子高齢化に伴い、東通村にも時間はあるし、まだまだ仕事をこなせる、若い者よりも技術ややる気はある。といった方々も多いと思われることから、組織化することが望まれます。

- ・施設の管理運営サービス
- ・専門的技術的なサービス
- ・除草伐採（特に山）サービス など

(シルバー人材センター組織図)



#### ⑤行政の協力と支援

村は、環境組織に対し、国・県からの情報及び支援等の提供を行うと共に、環境に対する各部局相互の情報共有・連携をし、その環境政策の恒久的な実現を目指すものとする。

## (2) 環境活動サポートデザイン

○環境に関心のある方々の中から、環境リーダーやサポーターを育成します。

○環境活動を行う団体の立ち上げや支援を行います。

○環境活動の拠点となる場所を設けます。

○環境活動の参考となる資料の作成、テキスト作りを行います。



○インターネットを活用した環境ネットワークを構築します。



環境通信ネットワーク (イメージ図)

○村内見学ツアーを開催します。



デザイン検討委員会の村内視察風景。  
遠足を思い出す?

健康ウォーキング大会の様子。  
普段、車社会なので歩くことで見方が変わります。



### (3) 普及啓発デザイン

- 自然環境や景観形成をテーマに、定期的に講演会又はシンポジウムを開催します。



平成21年度 「21世紀東通村環境デザインシンポジウム」

- 環境啓発キャラクターを作成します。



平成7年度に東通村ふるさと祭りキャラクターとして制作した「かんだちくん」  
子どもにも親しまれるキャラにより、環境への啓発を図ります。

- 村主催のイベントや行事に、環境に関する分野を盛り込みます。

- 常に環境に関する情報を提供できるように、既存の施設の一角に「環境展示コーナー」を設けます。

- 東通村の豊かな自然環境スポットの写真を募集し「東通環境100選」として、写真展を開催します。

- 環境に関するイベントを計画・開催します。

#### 【環境展の実施】

東通村の環境の取り組みを普及するためには、国レベルの環境展への参加、独自の環境展を開催します。



(日本最大の環境展示会 シンポジウムや活動事例発表)

#### N-EXPO 2010

アジア最大の環境展!



(アジア最大の環境展 主に産業界の環境への取り組みの紹介)

#### 【環境サミット、環境学会の招致】

将来的には、環境のサミットや学会を招致できるよう環境に真摯に取り組みます。

特に小中学生を対象とした「小中学生環境サミット」などの実現にむけて取り組みます。



(2008 洞爺湖サミット)



#### (4) 環境教育デザイン

- 定期的にアンケート調査を実施し、児童生徒の環境に対する意識や変化を把握します。
- 授業又は課外授業で、東通村の環境・景観カレンダー、環境マップを作成します。
- 小中学生を対象に環境に関する授業を盛り込んでいきます。
- 環境に関わるさまざまな教室を開催できるよう計画を立てます。  
例) 自然体験教室、エコクッキング教室、景観学習教室など



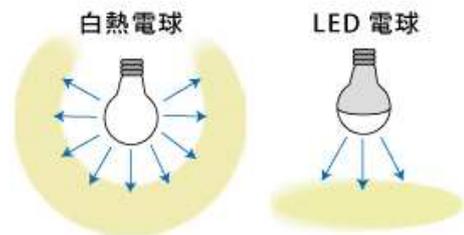
平成21年度 県の景観教室



平成21年度 エネルギー教室

#### (5) 環境誘導デザイン

- 先行エコ照明利用公共施設  
公共施設は、体育館などの特殊照明を除き、全てエコ照明に切り替える。  
LEDのイカ集魚灯への活用についても検討します。



- 電気自動車の導入促進  
公用車として先行して導入し、その走行性能、耐久性等について検証し、村内への導入可能性、電気供給（急速充電機）施設の場所、能力などを検討します。



写真：日産リーフ

- グリーン購入法による環境低負荷商品の購入に努めます。
- バイオマス燃料などの普及を支援します。
- 東通村生物多様性読本を編集します。

## (6) 環境認証デザイン

### ○ISO14001 認証を取得します。

平成22年12月現在、環境配慮認証を受けている（ISO14001取得）地方公共団体は、209団体あります。（平成16年は503団体でしたが、市町村合併や認証の返上等で294団体減少しました。）

環境立村をアピールし、イメージアップさせるためには認証の取得は必須です。

国際標準化機構（こくさいひょうじゅんかきこう）の国際規格。

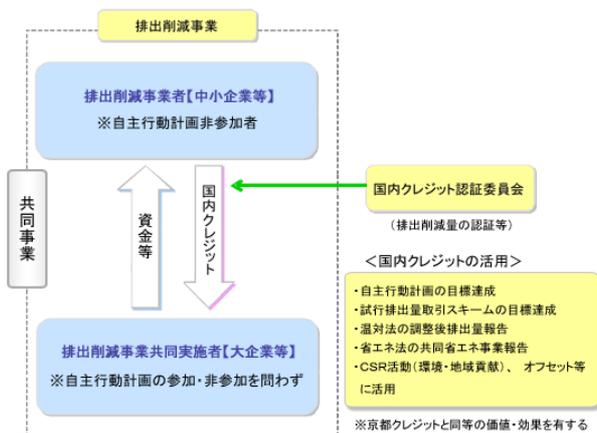
International Organization for Standardization 略称 ISO

- ・ 9001 = 品質管理・顧客満足度向上
- ・ 14001 = 環境負荷軽減・取組み証明
- ・ 27001 = 情報資産管理・法令順守
- ・ 22000 = 食品の安全性・品質管理
- ・ 13485 = 医療機器の品質管理

### ○国内排出削減量認証制度（国内クレジット）の活用及び支援をします。

地球温暖化対策である京都議定書目標達成計画（平成20年3月28日閣議決定）において規定されている大企業等による技術・資金等を通じて中小企業等が行った温室効果ガス排出削減量を認証し、自主行動計画や試行排出量取引スキームの目標達成等のために活用できる制度で、村内の事業者、団体が行う事業について助言・指導・支援します。

- ① 排出削減事業計画の作成
- ② 事業の承認
- ③ 実績報告書
- ④ 国内クレジットの認証



第10回生物多様性条約締結国会議(COP10)が名古屋で開催され、その議論や名古屋議定書などにより、生物の多様性についてメディアを通じ耳にする機会が増加しています。

「自然はタダではない」生態系サービスに対する支払制度(PES)、生態系と生物多様性の経済学(TEEB)など、生物の多様性に富んだ東通村だからこそ可能な「環境ブランド」の推進を図ります。

### ○森林認証を取得します。

民有林において、間伐や下刈を行い、かつ適正な伐採計画等がある場合は、「適正な森林が環境保全の観点からも適切で、社会的な利益にかなひ、経済的にも継続可能な管理を推進していくことを目的とした FSC 証制度 (Forest Stewardship Council) 等」を取得します。

東通村産材として、その付加価値を高めます。



FSC (森林管理協議会 国際会員組織) 世界共通  
PEFC (汎ヨーロッパ森林認証制度) 欧米相互認証  
SGEC (緑の循環認証会議) 日本国内のみの制度

### ○漁業認証を取得します。

持続可能で適切に管理され、環境に配慮した MSC 漁業認証制度 (Marine Stewardship Council) を取得します。

いつまでも魚を食べ続けることができるように、海洋の自然環境や水産資源を守って獲られた水産物に与えられる認証です。

東通村水産物として、その付加価値を高めます。



(MSC エコラベル)